

浦野 眞司
議員

秋3・4・6号線の公民館通りから永田橋間の今後の計画は
関係者への説明の早期実施を東京都へ要望

問 都市計画道路秋3・4・6号線の今後の計画は
現在、東京都は、秋3・4・6号線の公民館通りから永田橋間の測量を実施しているが、地域住民は今後の計画について何も解からない状況である。そこで以下について質問する。
① 地域住民及び地権者等への今後の対応を、どのよ

うに考えているのか。
② 多くの地権者がいる中で測量を行うことに問題はなかったのか。
③ 地質調査の結果はどのような内容だったのか。

都市整備部長

① 東京都では、一部の区間が掘割構造となっている事から、調査の結果を基に構造物の設計及び市道の取り付けなどの検討を行い、その後土地所有者及び関係者に対して説明会ができる

よう、計画的に作業を進めている。市としても関係者への説明会が早期に出来るよう、東京都へお願いしている。
② 東京都は、現在、現況測量を行っているが、沿道地権者で測量などを行う事に対しては問題なく作業が進んでいることである。
③ 4箇所調査を行った結果、道路整備事業を進める上で特に問題はない地層であるとのことである。



都市計画道路秋3・4・6号線永田橋交差点西側

田中 千代子
議員

子育てガイドブックの活用拡大は
子育て世代の市民に配布していきたい



あきる野市子育てサポートブック

子育て支援・児童担当参事

① 今後、市民課窓口での出生の届出時や転入時の機会を通じて子育て世代の市民に対し配布していきたい。

② 市内の保育園、幼稚園などの情報を年4回「るのキッズ通信」として提供し、子育て支援グループが発行している「るのキッズ」を「るのキッズ通信」に折込み、関係各課、社会福祉協議会の窓口などで配布しているが、より多くの家庭に届けられる方法を、前向きに検討していく。

③ 小学校就学前児童と小学校就学児童を対象にしたニーズ調査を平成20年度、ニーズ調査の集計、分析を平成21年度に行い、地域保健福祉計画と並行して計画を策定する予定になっている。

問 保健福祉行政について
少子化対策のための「次世代育成支援行動計画」に基づき、様々な事業が進められている。明年は前期計画の最終年であり、後期計画の準備の年でもある事か

ら、更なる充実を求め何う。
① 子育てガイドブックの活用拡大について。
② 子育て事業情報の周知方法の改善について。
③ 後期行動計画に向けての今後の取り組みについて。

他に、ふるさと工房五日市の管理運営について質問した。

影山 保
議員

社会教育施設の民営化はやめるべきだ

個々の施設の内容を検討しながら進める

問 平成20年6月、社会教育法改正論議の中で「社会教育施設への指定管理者制度導入はふさわしくない」という指摘や批判が相次ぎ、文部科学大臣も「指定管理者制度はなじまない」と明言した。それを受け「社会教育施設における人材確保及びその在り方について指

定管理者制度導入による弊害についても十分配慮すること」と国会の付帯決議も行われた。
① 公民館、図書館の果たす役割からして制度の導入はすべきではない。
② 教育長はどのように考えているか。

企画政策部長

① 指定管理者制度は公の施設管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図ると共に経費の削減を図ることが目的であり、公民館はその設置目的を十分に勘案して検討する。また、図書館についてはその位置付けも考慮し、民営と公営の両面から比較検討を行い、方向性を決定したいと考えている。

教育長

② 市の施設が指定管理者制度に移行する流れの中で、指定管理者制度を導入すれば施設運用が全て良い方向に進むとは思っていない。また、個々の施設の内容を検討しながら進めるが、教育的なレベルを下げない取り組みが前提と考える。

他に、あきる野市立小中学校PTA連合会から提出された予算要望書について質問した。

問 都市農地保全の取り組み
① 都市農地保全推進自治体協議会が組織されたが、当市の役割について伺う。
② 国などへの要望が期待されるところであるが、相続税納税猶予制度」と「生産緑地制度」が果たしてきた役割と今後の改善点について当市の見解を伺う。

市中 克賢 議員
都市農地保全推進自治体協議会の役割は
農業者などの声を反映するため国等への要望活動を行う



市街化区域内農地で大根掘りをする草花小学生

環境経済部長

① 都市農業の振興や都市農地を保全するために必要不可欠な相続税納税猶予制度や生産緑地制度などの見直しについて、農業者などの声が反映されたものとなるよう国等への要望活動を行う。
② 今日都市農業農地を守る一定の役割を担っていると考え、現行法では、農業生産に不可欠な農業用倉庫・機械器具庫の施設用地や屋敷林、市民農園用地として自治体などに貸与した農地は相続税納税猶予制度に該当しないこと。また、生産緑地制度では、500㎡以上の面積がなければ指定できないこととなっている。市としても、これらの制度改正が必要であると考

えている。
他に、地球温暖化防止に向けた取り組みについて質問した。



指定管理制度導入予定の社会教育施設

知っていますか？ 「餅つき」の由来

餅つきの由来

「モチ」は民俗学でいうハレの日（非日常、とくに神祭などの祝い日）の食べ物で、稲作農耕の食文化のひとつとして伝えられています。

神祭などの食品としたのは、餅を食べることで神の霊力を体内に迎え、生命力の再生と補強を願ったといえます。また、昔は、年間でも最も重要な神祭のお正月に、家族やゆかりのある方に餅を配る風習が各地にあり、戦後の食料難時代にもつきたての餅を近所に配り歩く家庭が少なくありませんでした。

1970年代以降、日本では食生活や住居様式の多様化などから、都市では自宅で餅をつく風景は、ほとんど見られなくなりました。しかし、保育所や幼稚園の餅つき体験、商店街や町内会のイベント、各種記念行事などの祝いごとには、現在も、餅つきが盛んに行われています。

この餅つきの由来を書き終えた時、子どもの頃、つきたての餅にあんこを塗した「あんこ餅」や黄な粉を塗した「黄な粉餅」の美味しさが大変なつかしく思い出されます。





旧市倉家住宅（五日市郷土館）での「親子餅つき体験教室」の風景

県人民代表大会友好代表団 あきる野市議会を表敬訪問

平成20年10月28日（火）に、北京市区・県人民代表大会友好代表団・王敏栄団長をはじめとする10名の団員が、あきる野市議会を表敬訪問しました。これは、1979年に東京都と北京市が友好交流都市締結を契機として始まり、その一環として親善交流を深めるために行われており、本年度当市が、東京都市議会議長会の会長市を務めていることから、あきる野市議会への表敬訪問が行われたものです。表敬訪問は、東京都市議会議長会会長・下田議長（あきる野市）、同副会長・篠原議長（小金井市）及び遠藤議長（西東京市）をはじめ、当市議会からは、青木副議長、市倉総務委員長、合川環境建設委員長、山根福祉文教委員長、浦野議会運営委員長が参加し、市側からも、白井市長、萩原副市長、宮林教育長の出席を得て、親善交流を深めました。

また、表敬訪問後は、秋川溪谷瀬音の湯へ移動し、バイオマスボイラーやスターリングエンジンの施設を視察しました。

東京都市議会議長会会長 下田議長の挨拶

東京都と北京市の間には、1979年に友好都市の提携が結ばれ、今年には29年目を迎えます。両都市の友好親善の関係は、区・市町村にまたがり、年々より強く進展をいたしております。今回も友好を

深める機会を得ることができたことは、東京都の各市と北京市の友好親善関係を一層深める上で意義深いものがございます。

今回の日本訪問が有意義で実り多いものとなり、日中両国の友好親善と、東京と北京市の交流が一層深まりますようお願いいたします。



王団長と下田議長

北京市区・



北京友好団当市議場にて

北京市区・県人民代表大
会友好代表団

王敏栄団長の挨拶

このたび東京都市議会議長会の温かいお招きにより、日本を訪問する機会を得られましたことは大変光栄なことと存じております。

両都市の間で、多彩な交流と協力が行われてまいりました結果、相互理解の深まり、さらには両都市の友好関係の促進にも積極的な役割を果たしてまいりました。

ぜひ、ご都合の良い時に北京を訪問されることを期待しております。

「どうもありがとうございます（日本語）」

瀬音の湯視察

表敬訪問の後、「秋川溪谷瀬音の湯」へ移動し、バイオマスボイラーなどの視察を行いました。



瀬音の湯バイオマスボイラー